

会議録

会議名	第1回 ニセコ町立北海道ニセコ高等学校教育課程検討専門委員会
日時	令和5年(2023年)6月30日 13:30~15:30
場所	ニセコ町役場 3F 議員室
参加者	委員:唐川会長、本谷副会長、澤村委員、川岸委員、大崎委員 事務局:片岡教育長、淵野課長、佐々木係長、荒川主事 傍聴:1名
議事	(1) これまでの経緯について(事務局より) (2) 系列・教育課程等検討状況報告(ニセコ高校より) (3) 研究協議(意見交換、情報交流など)
説明意見	(1) これまでの経緯について(事務局より) 説明 ・高校魅力化を検討する「魅力化検討委員会」にて、総合学科の系列・教育課程検討を目的とした委員会設置を決定し、本委員会開催に至った旨や今後の予定を説明。 (2) 系列・教育課程等検討状況報告(ニセコ高校より) 説明 ・別紙「シン・ニセコ高校検討委員会 検討素案」に沿って、検討素案を説明。 質問→回答 ・「シン・ニセコ高校検討委員会」はどのような構成か。 → 希望する教員6名で構成。 (3) 研究協議(意見交換、情報交流など) 意見 ・地域と関わる取り組みを実施することでUターン促進に繋がる研究結果がある。 ・100分授業のデメリットは、生徒にとっては授業時間が長く大変という印象を持つ可能性があり、先生にとっても授業の組立を考え直す負担がある。 ・100分授業のメリットは、実習授業や探究授業、少人数グループでの授業が行いやすくなる。また、教科によっては100分を分割して調整することで上記デメリットも解消できる。 ・ある高校では、少人数グループで実施する授業を6時間目に配置し、時間制限を設けないことで、グループ協議等を途中で打ち切ることなく実施し成果を上げている。 ・「探究的な学び」を先生が理解する必要がある。「調べて終わり」では意味が無い。 ・中学生やその保護者にとって、系列という考え方が分かり難いため、科目選択モデル作成が必要。大学進学もでき、ニセコの強みや特色ある教育も受けられることを示す必要がある。 ・「文理探求」や「特進」などの系列名称については、中学生やその保護者目線でどのような印象を与えるか考慮しながら名称を決定する必要がある。 ・中学生の保護者は普通科志向がある。ニセコ中学生やその保護者、先生へ今後のニセコ高校の目指す方向やカリキュラムなどを説明する機会を設けてほしい。 ・中学校の先生にニセコ高校の魅力を理解いただくことが生徒へ勧める入口になる。
決定事項	・シン・ニセコ高校検討委員会にて、今回上がった意見等も踏まえ検討いただき、次回会議にて案を提出いただく。 ・ニセコ中学生やその保護者、先生に対して、ニセコ高校の改革案について説明する場を設ける。